

緑 化 通 信

2021
12月25日
(年7回25日発行)
第489号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03) 3586-7361 FAX.(03) 3586-7577
URL : <https://www.ueki.or.jp/>
E-mail : honbu@ueki.or.jp



購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

新年のご挨拶



一般社団法人
日本植木協会会長

穴 倉 孝 行

新年明けましておめでと
うございます。
皆様におかれましては良
き新年をお迎えのことお
慶び申し上げます。

また、会員の皆様方に
は、平素より協会の事業活
動に対し格別なご指導・ご
協力を賜り心より御礼申し
上げます。

昨年は、新型コロナウィ

ルス感染拡大により経済活
動が停滞する中、協会の活
動にも少なからず影響を与
えたものと思います。

この様な中でも、人材育
成を目的とする「樹木識別
ポイント講習会」や、緑化
啓発を目的とする普及啓発
事業では子どもたちに「み
どりの大切さ」を教えるた
めの「緑育出前授業」や「記

録・密接・密接の3密を
避けつつ効率効果を最大限
にする努力が求められ、協
会発足からの総会が書面に
よる総会となり役員会等も
全員が集まり会議を行うと

いうものから、オンライン
機能を利用した電子化とい
うものに置き換えざるを得
なくなりました。

念樹等贈呈事業」について
は実施することができまし
た。

また、政府が打ち出しま
した農林水産物・食品の輸
出促進対策に関する農産物
輸出拡大の一端を担うため
花き輸出拡大協議会の活動
にも協力していくことも
に、植木や盆栽は花き輸出
額の多くを占める存在とな
っていることから、輸出
目標額の達成に向け本協会
や関係機関と連携をとりな
がら、日本から世界へ向け
て植木の輸出拡大に取り組
んでいきたいと思いをもち
ます。

さらには、本協会ではこ
のような社会的ニーズに応
えるため、より実態に即し
た緑化樹木生産数量の在庫
管理を行い、業界内外へ情
報発信するための事業を積
極的に展開していくことが
急務となつてきており、各
部会を中心となりホームペ
ージ、YouTubeやフェ
イスブック等の活用により
情報発信を行いつつあると
ころです。

協会を取巻く環境は、会
員及び生産数量の減少等と
厳しい状況が続いておりま
すが、新しい生産技術の開
発、流通の円滑化など新た
な取り組みも積極的に推進し
て参る所存でございます。

今後とも、関係機関・団
体等との連携を一層密に
し、会員の皆様とともに、
樹木生産・流通を通じ環境
保全や新しい街、地域づく
りに参画し緑化推進に貢献
して参る所存でございます。
引き続き、格別のご指
導・ご協力を賜りますよう
お願い申し上げます。

結びに、会員の皆様、関
係各位の益々のご発展とご
健勝を祈念し、年頭の挨拶
とさせていただきます。

新年のご挨拶



林野庁 長官

天 羽 隆

新春を迎え、謹んで新年
の御挨拶を申し上げます。

一般社団法人日本植木協会
並びに会員の皆様方におか
れましては、清々しい新年
をお迎えのこととお慶び申
上げます。

また、日頃より森林・林
業行政について特段の御理
解と御協力をいただいてお
りますこと、さらには、苗
木生産技術の高度化、種苗
の安定供給、環境緑化の推
進に向けて御尽力いただい
ておりますことに対して、
厚く御礼申し上げます。

昨年、令和3年7月・
8月の豪雨をはじめとする
自然災害により、全国各地
で甚大な被害が生じまし
た。亡くなられた方々の御
冥福をお祈りするとともに
に、被災された全ての方々
にお見舞い申し上げます。
林野庁といたしましては、
全国の被災地の一日も早い
復旧・復興に向けた支援等
に全力で取り組むとともに
に、防災・減災、国土強韌
化のための森林整備や治山
対策等を加速化してまいり
ます。

また、災害に強い森林づ
くりとあわせて、2050
年までに温室効果ガスの排
出量を実質ゼロにする
「2050年カーボンニュ
ートラル」の実現に向け、
森林資源の循環利用も求め
られております。戦後、先
人たちが守り育ててきた人
工林の多くが成熟し、本格
的な利用期を迎えている現
在、豊富な森林資源を「伐っ
て、使って、植える」とい
う持続的なサイクルで活用
し、森林・林業・木材産業
の成長産業化につなげてい
くことが重要であると考え
ております。

さて、昨年6月に新たな
「森林・林業基本計画」が
策定され、今後の森林・林
業施策の指針が示されたこ
ろです。本計画は、①森
林資源の適正な管理・利
用、②「新しい林業」に向
けた取組の展開、③木材産
業の国際競争力・地場競争
力の強化、④都市等におけ
る「第2の森林」づくり、
⑤新たな山村価値の創造と
いう5つの柱を通じて、森
林・林業・木材産業の持続
性を向上させながら成長発
展させることで、社会経済
生活の向上と2050年カ
ーボンニュートラルに寄与
する「グリーン成長」の実
現を目指すこととしており
ます。

この実現に向け、基本計
画の策定に先行して昨年3
月には「森林の間伐等の実
施の促進に関する特別措置
法」の一部を改正し、同法に
基づく間伐や優良種苗の増
殖等の支援措置の期限を延
長するとともに、エリート
ツリー等を用いて再造林を
促進する措置を新設いたし
ました。高齢化の進む我が
国の人工林に若い木を増
やすことは、森林資源の循
環利用に欠かせないと同時
に、二酸化炭素の森林吸収
量を増加させることに寄与
いたします。これは昨年10
月に閣議決定された「地球
温暖化対策計画」の
2030年度の森林吸収量
目標約3,800万CO2
トン(2013年度総排出
量比約2.7%)という目
標達成の重要な手段です。

また、このような再造林
の支援のほか、効率的かつ
安定的な林業経営の育成を
図るための国有林における
樹木採取権制度の創設や、
2050年カーボンニュ
ートラルにも貢献する木材利
用の一層の促進、国産材の
安定供給に向けた川上から
川下までが連携した取組
の支援などを積極的に進め
てまいります。

森林・林業・木材産業の
持続と成長を促し、社会経
済生活の向上と2050年
カーボンニュートラルに寄
与するグリーン成長の達成
に向け、昨年の取組をさら
に前進させていくよう、
そして我が国に暮らす全て
の皆様が森林の恵みを永永
く享受できるよう、全身全
霊をもって日々邁進してい
く所存です。本年も森林・
林業・木材産業関係者の、
そして国民の皆様への御協
力をお願いいたします。

会員の皆様におかれまし

コンテナ農場(100万本生産)



コンテナ農場



オリーブ



カンツバキ赤花と白花

(株)瀬戸内園芸センター



愛媛県今治市旦甲 248-1 TEL 0898-48-0010(代) FAX 0898-48-8187
<http://www.setoen.com/> E-mail : setouchi@setoen.com

主な生産物

クロマツ コニファー類 ヤシ類
カン類 クスノキ タブノキ
モチノキ ウバメガシ オリーブ
カクレミノ クロガネモチ
サンゴジュ シマトネリコ
マテバシイ ヤブツバキ ヤマモモ
レッドロビン オウゴンマサキ
カンツバキ(赤花と白花) サザンカ
シャリンバイ ツツジ類 トベラ
ハマヒサカキ ヒサカキ ミカン類
サクラ類 イロハモミジ ハナモモなど

新年のご挨拶



国土交通省
都市局公園緑地・景観課長

五十嵐 康之

令和4年の年頭にあたり、謹んで新年のお祝いを申し上げます。

一般社団法人日本植木協会並びに会員の皆様におかれましては、健康やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より公園緑地・景観とりわけ緑化関連行政に一方ならぬご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

世界規模で取り組まれていた新型コロナウイルス感染症への対策もようやく先が見えてきたように感じますが、日常生活のみならず、経済・社会の様相、さらには人々の行動・意識などに大きな変化が生じました。自宅で過ごす時間が増え、身近な空間への関心が高まり、暮らしに潤いを、心に癒しをもたらす樹々に

よる緑のオープンスペースの重要性が再認識されています。

国土交通省では、新しい日常に対応した公園利用を促進するために、ニューノーマル・グリーンライフを掲げて、関係団体の協力を得て、お気に入りの緑を見つけよう、緑のある暮らしを大切にしようというメッセージを発信しています。

また、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進めるグリーンインフラ推進戦略について、産学官が集まる国土交通省のプラットフォームの充実を図るとともに、モノとしての側面だけでなく検討のプロセスにも組み込むコトとしての位置づけを深めつつ、樹木に代表されるグリーンインフラの社会実装を推進させています。

さらに、日本では1990年の大阪花の万博以来のA1クラス国際園芸博覧会となる、2027年開催予定の「横浜国際園芸博覧会」については、国際園芸家協会(AIPH)の承認に続き、昨年6月の閣議了解に基づき、農林水産省とともに博覧会国際事務局(BIE)との協議を進めています。テーマは「幸せを創る明日の風景」で、豊かな樹々の緑に囲まれた花や農などの魅力と可能性を感じられるものとなるように検討と機運醸成に取り組んでいますので、ご協力を頂きますようお願いいたします。

本年は、3月19日からくまもと花とみどりの博覧会が熊本市の3エリアを中心に開催され、6月25日から「ガーデンフェスタ北海道2022」が北海道恵庭市で開催される、緑関係者には楽しみの多い年になるかと考えています。

こうした潮流への取り組みが貴協会の益々の充実・発展につながることを期待し、あわせて会員各位の益々のご健康を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

新年のご挨拶



環境省 自然環境局長

奥田 直久

令和4年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。一般社団法人日本植木協会及び会員の皆様におかれましては、平素より、自然を中心とする環境行政の推進にご理解、ご協力頂き、厚く御礼申し上げます。

令和4年の年頭にあたり、環境行政と密接な取組にご尽力いただき、誠にありがとうございます。あらためて敬意と感謝を表したいと思います。

さて、当初2020年10月に開催を予定していたCBD-COP15(生物多様性条約第15回締約国会議)はコロナ禍の影響により、延期を余儀なくされました。その後、幾度かの延期を経て、2021年10月

ですが、いよいよ今年の春に、実際の交渉の場となる第二部が中国・昆明で開催予定です。

CBD-COP15は、生物多様性に関する次の世界目標(ポスト愛知目標)を決定する重要な世界会議です。この世界目標案の中で、注目されている目標のひとつが「2030年までに、陸地及び海洋の少なくとも30%を保全又は保護すること(30 by 30)」です。

「OECD」とは、「保護」とは、地域外で生物多様性の保全に資する地域」のことで、環境省では、「民間取組等による生物多様性保全に貢献する区域」を認定する仕組みを構築するため、令和2年度から有識者による検討を開始しています。

認定される区域として、例えば、企業有林や、鎮守の森のような社寺林、都市内の緑地など、人々の生活に身近な緑地で、適切に維持管理されている場所も候補となり得ます。2022年度から試行的な認定を開始し、2023年には、全国では少なくとも100地域以上を先行的に認定することを目指してまいります。

貴協会のこれまでの取り組み、また新たな取組みが、こうした様々な方々による

OECDの認定や適切な維持管理の力となることを願っています。

また、昨年度から「国連生態系回復の10年」が開始されました。「30 by 30」とも相まって、健全な生態系への回復を目指す観点からも、地球規模での気候変動対策の上でも、今後、貴協会の役割は益々重要になっていくと考えております。

今後とも緑化等を通じた環境保全活動にさらなるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年の貴協会及び会員の皆様方の益々のご活躍とご発展を祈念いたしまして、私の年頭のご挨拶とさせていただきます。



マダム レモニー



糸ピコティダブル



赤



赤紫



赤紫セミダブル



灰紫セミダブル



灰紫ダブル



赤ダブル



千重



新年のご挨拶



農林水産省 農産局長

平 形 雄 策

令和4年の年頭にあたり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

一般社団法人日本植木協会及び会員の皆様におかれましては、日頃より植木をはじめとする花き生産及び花き文化の振興、輸出の拡大に御尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大により経済活動が停滞するなど日本植木協会の皆様におかれても多大な御苦労があったことと拝察いたします。

我が国の花き産業については、一昨年から新型コロナウイルスの影響により、昨年イベントや結婚式の中止・縮小等で業務用の花き需要が減少する一方、テ

レワークや外出自粛等の影響でホームユースの花き需要が増加するなど、その需要構造が急速に変化しています。

また、世論調査などでは新型コロナウイルス感染症の拡大前よりもストレスが増加したと回答している人が増えており、ストレスや疲労感の軽減、認知機能の改

新年のご挨拶



一般財団法人
日本緑化センター会長

矢 嶋 進

新年明けましておめでとうございます。一般社団法人日本植木協会会員の皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、

平素より当センターの事業活動に対して格段のご理解・ご協力を賜っており、誠にありがとうございます。この状況にあり、今年も引き続き、環境緑化を推進するため、様々な分野にわたる事業に取り組んでいますが、環境緑化を着実に推進するためには、それを支える専門的な技術者の育成が必要不可欠であるということから、樹

木医、松保護士、自然再生士の養成認定事業を実施しております。一昨年はコロナ禍によりすべての資格の認定試験は実施できませんでした。さらには、当センターの新たな取り組みとして、一

善といった植物の癒やし効果への人々の関心が高まっていると感じています。

農林水産省としても、テレワーク等で人々の在宅時間が増加し、ライフスタイルが変化している中、より多くの人々の日常生活に花や観葉植物を取り入れてもらえるよう、家庭や職場などでの花や樹木の利用スタイルの提案、花きの効用や魅力の普及啓発活動等を通じて、花きの消費拡大に取り組んでまいります。

また、海外での需要確保に向けて、生産者や輸出事業者等の関係者と連携し、引き続き、輸出先国での需要調査、海外での日本産花

きの展示や商談会等の実施といった輸出の取組を強化し、我が国の植木や盆栽、切り枝等の日本産花きの輸出拡大を進めてまいります。

本年開催されますオランダ・アルメーレ国際園芸博覧会では、農林水産省と国土交通省による政府出展を通じ、植木や盆栽を含む我が国の花き文化を紹介し、高品質な日本産花きのブランド力のさらなる向上に繋げていきたいと考えております。

さらに、令和9年に横浜市中で開催予定の国際園芸博覧会につきましては、平成2年に大阪で開催された国際花と緑の博覧会以来、我が国の方々の身近な緑に対する関心の高まりを踏まえ、従来の専門技術者に限らず、広く一般の方々にターゲットにした、緑に関する総合的な講座の開設を計画しています。現在、本年の開講を目指して鋭意準備を進めているところです。

2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標であるSDGsが社会全体の課題として取り組まれており、その17の目標には環境緑化が深く関係しているものが多くあります。特に近年は脱炭素社会の実現が喫緊の課題とされており、その対策の中でも環境緑化は必要不可欠な取り組みです。「環境緑化」という言葉には長い歴史があるものの、今日的課題として質的・量的にさら

が国で2回目となる国際園芸博覧会であり、昨年11月に博覧会の準備・運営主体となる「2027年国際園芸博覧会協会」が設立され、博覧会の準備に向けた取組が加速しているところです。博覧会は、植木や盆栽を含む我が国の花き需要拡大のチャンスであり、業界一丸となって盛り上げていきたいと考えておりますので、貴協会からも御協力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方の益々の御活躍と御発展の年となりますことをお祈り申し上げます。年賀の御挨拶とさせていただきます。

おり、その重要性はますます高まっています。社会がより成熟化する中、こうした環境緑化に関する取り組みを総合的に推進するためには、多くの関係団体が連携を図りながら、着実に成果を上げていくことが必要です。とりわけ、貴協会とはこれまで協力して様々な取り組みを行ってこられ、引き続き緊密に連携を図りつつ、緑に対する多様な社会的ニーズに対応した事業活動を進めてまいります。

結びに、コロナ禍を乗り越え、本年が貴協会と会員の皆様にとって実り多い年となりますことを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

日本列島植木植物園

ナショナルプランツ コレクション*

園川原田邦彦 確実園園芸場（茨城県） ☎029-872-0051

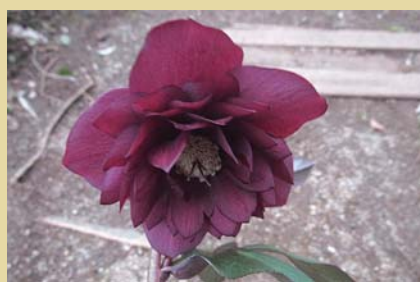
クリスマスローズ（その2）

2021年4月号（その1）18種類に続き、他17種類のご紹介です。

一般にクリスマスローズと呼ばれるヘレボラス類は約15種あり、その多くは栽培の難しい種類です。最近よく見られる春咲きクリスマスローズ（レンテンローズ）は栽培が比較的容易で、花色や花型がバラエティーに富んでいることから人気があり、育種も盛んにおこなわれています。

なお、本来のクリスマスローズはヘレボラス ニガーのことで、花色は白で、開花が早く12月のクリスマスの頃には開花するため名づけられました。春咲きクリスマスローズは名前の通り年が明けた2～3月に開花し、よほどのことがないと12月に開花することはありません。現在はこれらを区別せず、クリスマスローズと呼ぶことが多くなっています。

当園では40年ほど前に導入しています。茨城県では初だと思われます。ダブル咲きが出てきてから人気が高くなり現在に至っています。



赤紫ダブル



白ブロッチダブル



ピコティセミダブル



ピコティダブル



ピンクセミダブル



ブラック



ブラックダブル



ホワイト

令和3年度
第5回 理事会を開催

令和3年11月19日(金)13時30分から協会会議室及びリモートにおいて、理事14名、監事1名及び事務局出席のもと阪上副会長を議長に選出し第5回理事会が開催されました。

議事の内容は次のとおり。

- 1 通常総会について
令和4年1月26日に仙台市(メトロポリタン仙台)開催予定の令和4年度通常総会については、緊急事態宣言も解除となり、通常総会を開催する条件については整ってきたと思われる、この様な状況であれば、開催も可能との判断から仙台市において開催することとなりました。また、総会終了後の講演会の講師につきまし
- 2 来年度予算関係について
令和4年度についても前年同様に会員の減少等により財政が厳しい状況にあることから、会長、副会長、各委員会委員長及び各ブロック長に参加していただき、「協会運営にかかる支出の抑制について」を議題とし、検討委員会を7月と8月の2回にわたり開催したところです。この検討委員会での意見を基に、令和4年度の予算編成をしたところとです。
- 3 補助金等について
農林水産省が公募する補助金等について、協会運営の点からも協会に關係する補助金の確保が重要ではないかとの認識から、来年度に向け、協会内に予算確保に向けた委員会等の設置についても検討していくこととしました。
- 4 栄倉会長が退任した場合の対応について
栄倉会長の退任の動きがあるようですが、退任となった場合、現在、兼務している全国花き輸出拡大協議会の関係からも、協会顧問と兼務により、今後も全国花き輸出拡大協議会会長を継続していただきたいと考えております。
- 5 その他
減少傾向のある中、2社団の加入申込があり入会を認めることとなった。



植生調査委員会
植生アドバイザー育成講座の新植栽地を設定

植生調査委員会は東京農業大学名誉教授中村幸人先生の仲介で、11月9日に(株)世田谷川場ふるさと公社の宮内代表取締役専務を表敬訪問し、植生アドバイザー育成講座で使用する群馬県川場村のヒロイド原新植栽地の利用許可をいただきました。毎年8月末開催の植生アドバイザー育成講座では、植生復元の実務的な研修の一環として、イスブナ・ケヤキ・ハンキ等のモデル植栽と生育のモニタリングを行っています。今回、世田谷川場ふるさと公社のご厚意により、約1,000㎡の丘陵地を新たに使用することができるとなりました。植生復元計画に沿った植栽方法・植栽管理等の実地研修の強化が期待されます。

待たれます。

当日は会議室で植生調査委員会のこれまでの活動実績を説明するとともに、世田谷川場ふるさと公社からは世田谷区民、川場村民が共同で山づくりをする里山塾の紹介がありました。その後、一同で新植栽地に向き、区画の確認や植栽方法等について計画の共有を図りました。

ヒロイド原新植栽地は令和4年6月のスキルアップセミナーにて整備、試験植栽を行い、令和4年8月末の植生アドバイザー育成講座より本格的に運用いたします。

新たな植栽地を得て、植生調査委員会は植生アドバイザー育成講座の一層の充実を進めてまいります。



(株)世田谷川場ふるさと公社を表敬訪問



新植栽地の区画を確認

特集
植木類に加害する外来病害虫・東京周辺の事例⑥

オリーブ・ブアナ・アキゾウムシ

樹木医 小林 明

外来種の害虫ではありませんが、外来種のオリーブが好物になった昆虫です。「オリーブが弱っているのを見てほしい」という問いに合わせがいくつかありましたが、原因はほとんどがこの虫でした。多数が加害すると、急激に樹勢が衰え、枯れることもしばしばです。加害当初は数が少ないのですが、気が付くころには多数になっていることが特徴と言えます。

オリーブは洋風の植栽にマッチした緑化樹としてガーデニングの拡がりや都市の再開発の進展などに応じて植えられるようになり、それに乗じてこの虫の生息も広がっていると考えられます。

○分布
国内では本州、四国、九州、八重山諸島、海外では中国にも分布しているといふことです。国内ではモクセイ科のイボタやネズミモチなどに寄生しているのを見てもオリーブもモクセイ科に属し、地中海沿岸が原産地で、ヨーロッパやアフリカ大陸の地中海沿岸部などで、果実を食用にしたり油を採取したりする果樹として広く栽培されています。

○被害
多くは地上40cmほどまでの幹と太根ですが新芽や葉柄を食害することもあります。樹皮や形成層、辺材部が加害されると根元にフラスと呼ばれる木くずを落とします。このフラスや樹皮が剥がれたりしていることが加害されたことを見分けるポイントです。

形成層の外側には光合成による生産物を根などに送る役割がある篩管があり、この部分をかじられると生育の維持に支障となります。また、幼虫が生息する辺材部は、根からの水や養分の通路で、その供給が阻害されると葉のしおれや枝枯れを招きます。樹皮のかじられた部分や辺材部を食害された部分が広がるにつれて枝葉が衰弱し、限度を超えると枯れてしまいます。

相談を受けた被害木は、ほとんどが根元径10cmほどの大きさでしたが、近年、神奈川県や埼玉県などで圃場の苗木に被害が発生した事例が報告されています。

○成虫の特徴と生息
成虫は他のゾウムシと同様にゾウの鼻のような口吻と呼ばれる長さ数mmの突起があり、体長が2cmほどです。色は目立ちにくい暗褐色でまだら模様があり、背のめ発見が難しく、成虫を見つけた際には夜の観察が必要です。

○防除
耕種防除とよばれる圃場の生育環境の改善として、根元を裸地状態にしておくことがあります。虫の隠れ場所をなくするため、除草や敷き藁を置かないことが大切です。また、幹への成虫の産卵防止として、塗布剤を幹に塗る方法や被覆材を巻く方法などがあります。

適用がある殺虫剤には、スミチオン乳剤やアディオン水和剤などがあります。他に、生物農薬としてバイオセーフがあり、幼虫の発生期に施用します。栽培する形状や栽培地と周辺の状況に応じて使い分けることが大切です。



成虫



塗布剤を使用した根元

成虫は3〜11月にかけて樹皮を食べながら生育し、交尾の後、幹に穴をあけて1個ずつの産卵を繰り返します。卵から幼虫になった後は、樹皮に近い部分をかじりながら幹の中に入り、2か月ほどで成虫になります。幼虫が幹をかじると、細かなフラスを幹の外に出します。越冬は幼虫か成虫で行います。成虫の活動は夜行型です。



幼虫



衰弱したオリーブ

日本列島植木植物園

ナショナルブランド コレクション

生駒 順 生駒植木株式会社(神奈川県)

045-851-1805

天目松(テンモクショウ)

学名 *Pinus densiflora* 'Pendula'
英名 Weeping Japanese Red Pine

和風庭園を構成する樹木として、古来より親しみのあるのがマツです。クロマツ、アカマツ、ゴヨウマツがその代表として挙げられます。

さらにそのアカマツの変異種として天目松という品種があります。その形状は枝垂れ性で、雌松とも呼ばれるアカマツをさらにやさしい雰囲気にしたような品種です。赤く、曲線のある幹・枝は女性的なしなやかさを醸し出し、雄々しいクロマツとは対照的なマツの品種です。葉もやわらかく、クロマツと違って痛くないのも特徴です。模様木もの、懸崖もの、双幹ものなど仕立て方もいろいろあります。日本の樹芸文化を海外に紹介するのにも適した品種のひとつだと思います。

剪定は好みにもよりますが、クロマツのようなすべての新芽を摘んで、しっかりとさせるようなやり方はせず、新芽を残しつつ枝で透かし、やわらかい趣を出すような優しい剪定が、この樹木の特性を活かす手法ではないでしょうか。

樹勢はクロマツよりも弱く、過度の剪定はマツノザイセンチュウの被害を受けることにもつながるので注意します。剪定は夏季と冬季の2回、アブラムシ、ハダニ対策の消毒を適宜、冬季に緩効性肥料を施すという年間管理を行っています。

※ナショナルブランド コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。



コンテナ部会

樹木アルコール発酵の
オンライン講演会を開催

コンテナ部会は11月4日、森林総合研究所 森林資源化学研究領域 微生物工学研究室の大塚祐一郎研究員による「樹を直接発酵して造る、香り豊かなアルコール―世界初!日本発の木のお酒を目指して―」と題したオンライン講演会を開催しました。

大塚氏のチームが取り組んでいる木のお酒は、木材と仕込み水を混ぜて木材を直接発酵して造る全く新しいお酒を指します。

お酒を造るには糖分が必要ですが、木材は成分の半分がセルロースでできていますが、このセルロースはブドウ糖が繋がった繊維で、酵素(セルラーゼ)を使ってブドウ糖に分解することでお酒の原料を生産することが出来ます。

しかし、セルロースは固いグニンという成分の細胞壁で覆われています。森林総合研究所はこの細胞壁をシリコニアビーズを使って粉砕装置で2μm(マイ

講師の森林総合研究所 大塚祐一郎氏

クロメートル)以下に粉砕することでセルロースを取り出す方法を編み出し、この様に木のお酒を実現することで、

実際の製造プロセスは木材の粉碎↓湿式ミリング処理↓ブドウ糖化↓酵母培養↓アルコール発酵↓蒸留の手順を踏み、約2週間でアルコール度数30〜40%のお酒が完成します。

計算上は樹齢40〜50年のスギ一本から100本以上の蒸留酒を製造することが出来ます。シラカバ、サクラ、ミズナラ、クロモジなどもスギ原料と同量のお酒を製造できる上、それぞれの樹種ごとに特徴的な香りが醸し出されるのが魅力です。樹齢の長い木は時間的価値があり、お酒に迫り込む際のストーリーを描き

森林総合研究所ではこの木のお酒の技術開発は行っているものの、事業化はしたいという企業・団体との連携を通じて、2〜3年後の製品化を想定している模様で、

21名が参加しましたが、質疑応答では蒸留と醸造の違い、設備投資費用、事業参

木の酒の魅力

樹種ごとに特徴的な香りが醸し出さ

スギ	シラカバ	サクラ	ミズナラ	クロモジ
スギらしい親しみのある香り	白ワインを思わせる爽やかでフルーティーな香り	桜餅を連想する華やかな香り	バニラのような甘く芳醇な香り	完熟した柑橘類を思わせる、甘く爽やかな香り
森林浴をしているような爽やかで力強い香り	モモやバナナ、甘く熟した果実のような香り	花やジャスミンを連想する華やかな香り	ウイスキーを思わせる芳醇でスモーキーな香り	爽やかな柑橘系の香りと花のような華やかな香り

醸造酒

蒸留酒

講演会スライド(木の酒の魅力)

家を建てる時に見に行ける住宅展示場があるように、庭を作りたい時に見に行ける庭園展示場があってもいいのではないのでしょうか。洋風、和風、自然風、個性豊かな9つの庭を実際に見て体感して楽しんで頂きたい。1本の木が庭にあたることで得られる暮らしの豊かさを伝え、1本の木を植えることから環境意識を変えていきたい。そこから個々のSDGsにもつながっていくようにもしたいです。

鈴鹿市は全国的にも有名な植木の生産地です。沖植物園は産地の卸屋さんとして創業した会社です。生産者さんから植木を仕入れて、地元の造園屋さんや、

Green & Smile さんぽ道

お庭の体験展示場

Green&Smile さんぽ道

519-0115 三重県鈴鹿市山本町210-9

059-371-0610

059-371-0611

okisyoku@mecha.ne.jp

地方かわら版

庭の展示場オープン
「Green & Smile さんぽ道」

沖 俊直(株)沖植物園・三重県

日本初!造園業者が手を組み、
「お庭の体験展示場」が鈴鹿にオープン!

都市部の卸業者さんに卸していただきます。何でもそう植木屋を目指して、生産者さん、お客様、同業者の仲間との信頼を築いてきました。

近年、緑化工事の減少や、生産者さんの高齢化等の問題により業界全体が低迷しています。植木の卸屋としてもっと何かできることはないだろうかと考えていました。

父と話すうちに実際に庭を見ることが出来る庭園展示場があったらいいなとなりました。造園業者の方にお声がけさせて頂いたところ、9つの造園業者様が参加してくださる事になりました。

「Green & Smile さんぽ道」は、どなたでも気軽にふらっと立ち寄って、さんぽしながら庭や植木を楽しんで頂ける場所です。実際に見て、体感して頂き、庭や植木に興味を持ってもらえたらうれしいです。常設展示なので四季折々の庭の変化も楽しめます。そして、庭を作るときには参考にもなると思います。

今後、さらにお庭を作りたい造園業者を集めながら、造園業者さん同士のつながりはもちろん、ワークショップや、庭師を目指す若者の応援、小さいお子様からおじいさんおばあさん家族みんなで緑に触れあえる緑育の場にしていきたいです。地域、学校等と連携しながら地域に根差したお庭の展示場を目指します。緑あふれる鈴鹿の街づくりに貢献できるように仲間と共に歩んでいきたいです。

【連絡先】
株式会社沖植物園
代表取締役 沖俊直
三重県鈴鹿市山本町210-9
電話 059-371-0610
FAX 059-371-0611
メールアドレス
okisyoku@mecha.ne.jp



日本列島植木植物園

ナショナルプランツ コレクション

園 小林 博文 (有)小林養樹園(東京都)
☎電話042-531-0123

トピアリー

トピアリーとは、ツゲやコニファーなどを使って人工的に仕立てた造形物の名称です。仕立て方としては、樹木を直接刈り込んで仕立てる方法や、予め針金や金網などで立体的に製作したフレームの中に樹木を入れて、リアルに仕立てる方法などがあります。弊社では2000年頃から、トピアリーの生産を始めました。



動物としてはペンギン、イルカ、ウサギ、クマ、フクロウ、犬など、幾何学的な形に刈り込んだものとしては、スパイラル、スタンダード、アルファベットなど、様々な種類のトピアリーを多数生産しています。

今後、皆様に満足して頂けるような商品を増やして、トピアリーが認知され、全国的に広まるよう努力して行きたいと思っています。よろしくお願いいたします。



※ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

学校紹介

未来の業界を担う若者たち

兵庫県立有馬高等学校 人と自然科

教諭(農場長) 長光 雅実

1. 学校概要

本校は明治29年に町村組合立として創立された有馬農業補習学校と、明治40年に三田町立として創立された三田裁縫女学校を前身とする、創立125年を誇る兵庫県で最も歴史ある農業系学科を持つ高校です。平成8年には緑地園芸科、生産流通科、家政科、生活情報科の学びを集約するとともに、農・食・環境を結び、21世紀の環境問題、食糧問題などについてグローバルな視点に立った専門的な学習を実践する、人と自然科が誕生しました。

2. 人と自然科の概要

野菜、草花、果樹の栽培プロジェクトを中心に、調査や管理実習を通じて栽培技術を習得しています。またカリキュラムには多様な学校設定科目を設けており、緑地園芸科の学びを引き継いだ『デザイン基礎』

3. 特色ある教育活動(学校設定科目)

(1) 人と自然(1年生学校設定科目)
農業や人間の生活などが自然や環境とどのように関わっているかを中心に学びます。授業では兵庫県立人と自然の博物館との連携セミナーを実施しており、年間8回博物館を訪れ、博物館の研究員によるセミナー

4. 今後に向けて

令和4年度からは、新学習指導要領の改訂に伴い、新しいカリキュラムがスタートします。学校設定科目『果樹と緑』を設けるなど、現行の学びをさらに深化させるとともに、有馬高校のシンボルでもある、県下の教育施設で最大級の観覧温室「大温室」が、国の

5. 地域自然保護

里山管理(地域自然保護)として設定し、フラワールンジメントに関する高度な知識と技術を学びます。特

6. デジタル化社会

デジタル化社会に対応した産業教育設備整備事業の対象となり、環境制御システムが導入され地域の方が集う場として大きく生まれ変わる予定です。これらも有馬高校人と自然科は自然環境の回復や環境保全を考



チャレンジ教室(フローラルアート)



カイズカイクキ剪定(総合実習)



明石まちなみガーデン作庭



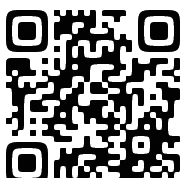
三田市役所花時計植栽



里山管理(地域自然保護)



大温室



有馬高校新 HP_QR コード

連載「東アジアの高山植物」

第6回 「湧水辺の植物」

東京農業大学名誉教授 中村 幸人



◆プロフィール 中村 幸人(なかむら ゆきと)
1952(昭和27)年3月生 東京農業大学名誉教授(博士 理学)専門:植生学、植物地理学、景観生態学
神奈川県鳥獣総合対策協議会委員、神奈川県公共事業評価審査会委員、国際植生学会群集命名規約委員会委員 他
横浜国立大学助手、作新学院大学教授を経て平成14年より東京農業大学教授

高山帯で湧水がみられるのは、氷河の末端部や永久凍土の上部が夏季に融けだすような場所に限られます。湧水辺といっても水が染み出す程度の環境です。そのような場所は年平均気温0℃以下の凍土層の形成されるツンドラや高山帯ということになり、日本列島では富士山と北海道の大雪山で確認されています。富士山では荒いスコリア火山灰に覆われていて崩壊しやすく、生育できる植物はオンタデ、フジハタザオなどの荒原植物だけで、湧水辺植物は出現していません。大雪山では小泉岳(2,158m)に小面積で夏季に永久凍土の染み出しが確認されており、そこにタカネクロスゲの群生が見られます。タカネクロスゲと言っても、スゲの仲間ではなく、カヤツリグサ科の植物で、本州中部山岳以北、北海道、サハリン、千島、ウスリーに分布しています(写真1)。



写真1. 北アルプス八方尾根のタカネクロスゲ (石田祐子氏提供)



写真2. 湧水辺植物のチョウジギクとスゲの仲間のタヌキラン

本州の高山では海拔3,000m付近で、永久凍土が形成される可能性はあるのですが、稜線や山頂など吹きさらしで乾燥しやすく、凍土層の発達には難しいようです。したがって、中部山岳の高山帯では豊富に水が染み出すような湧水辺は見られません。日本では本格的な湧水辺植物群落は亜高山帯から出現するようになります。朝日岳(2,418m)ではチョウジギクとタヌキランの優占する茎高な湧水辺植物群落が南東斜面の海拔2,150mで確認されています(写真2)。この群落は日本海側多雪地のブナ帯から亜高山帯に分布しています。朝日岳では隣接して平坦部の短茎な草原ではオ

ニシオガマやオタカラコウの生育も見られます(写真3)。シオガマグクの仲間は中生草地に生育することが多いので、オニシオガマのように湧水辺に生育するのは珍しいと思います。

高山帯の湧水辺植物群落は、カムチャツカ半島の海拔1,200m以高の高山帯で確認できますが、雪渓由来の雪田と異なり、夏季の永久凍土の表層の融解によって維持されているようです。写真4にはユキノシタ科の *Saxifraga hyperborea* とチシマツメクサが写っています。どちらの種も北極圏に分布し、チシマツメクサ



写真3. オニシオガマグクの花。フキのように見えるのはオタカラコウ

は北海道と中部山岳の高山に隔離分布しています。最終氷期の低温気候の発達とともにシベリアからサハリンを通過して南下し、今の間氷期に高山に取り残されて隔離分布するようになりました。高山帯の湧水辺に出現する代表的な属はアカバナ属、ハコベ属、キンポウゲ属、ネコノメソウ属で、日本との共通種ではミヤマアカバナ、カンチャチハコベ、クモマキンポウゲ、チシマネコノメソウなど、小形の草本類があげられます。クモマキンポウゲは絶滅危惧IA類(CR)の指定を受けた貴重種で、湿った環境の砂礫地に見られるのは、かろうじてカムチャツカ半島の生育地に似た環境に生き残っていると理解することが出来ます。

このように高山帯の湧水辺植物は北方系の種で占められているのに対し、日本海側のブナ帯から亜高山帯に見られるタヌキラン、チョウジギク、オニシオガマなどは日本固有種、あるいはオタカラコウのように東アジアに分布の及ぶ種が多く、高山帯の湧水辺植物とは異なる由来であるのがわかります。



写真4. カムチャツカ半島の多湿な環境に見られた *Saxifraga hyperborea* と円内のチシマツメクサ

会 員 動 向

新入会員

- ▷(有)江波戸植木 江波戸 喜一
〒289-2121 千葉県匝瑺市東小笹2957
電話0479-72-4550 FAX0479-72-4993
e-mail: kiebato@beige.ocn.ne.jp
▷滝島園 滝島 聡 〒190-0031 東京都立川市砂川町3-9-7
電話042-536-6549 FAX042-537-6277
e-mail support@takishimaen.com
ホームページ https://www.takishimaen.com

代表者変更

- ▷(新) 木幡喜行 (株)コワタ (福島県)
▷(新) 椎名康裕 (有)アーバングリーン植六 (千葉県)

e-mail アドレス変更

- ▷高橋園芸(東京都) Hy-1043@yel.m-net.ne.jp
▷(有)美好緑化(愛知県) kuro89507855@gmail.com

ホームページアドレス変更

- ▷(有)総合緑化コガキュー http://kogakyu.com

訃 報

- ▷石川 剛 様(協会会員) 石川園(東京都)
令和3年11月20日没 享年54歳
▷梅田 梅子 様(梅田富夫氏のご祖母様)
梅田園(東京都) 令和3年11月10日没 享年99歳

協会退会

- ▷(株)グリーンラボ(福島県) ▷(有)野村緑化(埼玉県)
▷有山緑化繁殖(株)(埼玉) ▷(有)鈴木園(東京都)
▷堺園(東京都) ▷(有)古屋植木(神奈川県)
▷まるかみ種苗園(長野県) ▷(株)江間樹苗園(静岡県)
▷農事組合法人グリーンステーション和樹(愛知県)
▷小平植木(熊本県)

素描挿話。

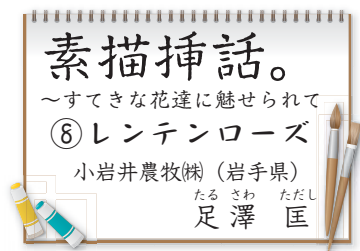
～すてきな花達に魅せられて

⑧ レンテンローズ

小岩井農牧(株)(岩手県)

たる さわ ただし

足澤 匡



「レンテンローズ」は、明確に区別されています。「クリスマスローズ *H. niger*」は、クリスマスの時期(12月)に開花しますが、「レンテンローズ *H. orientalis*」は、2～3月に開花します。この時期は、キリスト教ではレント(四旬節)と呼び、レンテンローズの由来になります。この四旬節(しじゅんせつ)を調べてみると、復活祭の46日前の水曜日から復活祭前日までの期間という事はわかりましたが・・・、キリスト教徒ではないので、ピンときません。春咲きなので、「ハルザキクリスマスローズ」の別名もあります。日本では、「レンテンローズ」より、「クリスマスローズ」の方が、知名度があります。「ヘレボルス」と呼ぶ人は、ほとんどいませんよね。

とはいえ、キリスト教徒でもないのに、毎年クリスマスには、なぜか、クリスマスケーキを食べます。キリスト教徒でもないのに、バレンタインデーやホワイトデーには、チョコレートやクッキーを渡し合ったり、ハロウィンでは、仮装して大騒ぎする日本人って、どう…。

ちなみに、クリスマスローズの仲間の多くは、なぜか下向きに花を咲かせますよね。派手な花色でもなく、楚々としているのに、日陰にも強く、強健で管理が容易であるために、とても人気があります。さらに、花期が長い。…花が終わっても、花弁が落ちない?…実は、花弁ではなく、萼片(がくへん)なのですが…、そのために観賞期間が長くなるのです。このスケッチの花も雄しべが落ち、花としては終わっているのです。では、なんのために目立つ萼片が残っているのでしょうか? 植物って、自然って、本当に不思議ですよね。興味は尽きません。だから、楽しいです。



特別庭園樹木(名木)

認定について

特別庭園樹木(名木)について令和2年度及び令和3年度と2回実施しましたが、昨年、総会が書面となり、ご照会されていないことから今回と次回号の2回に分けてご報告させていただきます。

1回目、今回の報告する分は、令和2年8月に、秋田県横手市の北日本管与株式会社(代表取締役菅原勝利)さんが多数所有しています名木の中から申請のありました、クロマツ3本(生産地青森県)、アカマツ3本(生産地秋田県及び青森県)、ゴヨウマツ1本(生産地秋田県)の合計7本について、名木認定委員会岩田正章委員長、近藤増男委員、川津富夫委員及び事務局の4名により審査を実施しました。

1日目は、秋田県大曲市に集合後、北日本管与株式会社社屋におきまして、申請者菅原さんから申請にあたっての説明を受けた後移動し、横手園場において申請のありました、アカマツ2本及びゴヨウマツ1本の計3本の審査にあたり、審査委員の評価は、アカマツ2本は、平均点50点満点中49点となり、ゴヨウマツにつきましては50点満点となり、高評価となりました。

横手園場での審査が終了後、青森県弘前市に移動し、名木についての意見交換を行いながら懇親を深めました。

2日目は、青森県平川市平川市園場において申請のありました、クロマツ3本及びアカマツ1本の計4本の審査を実施し、昨日に続き4本とも平均点50点満点中49点となり高評価となりました。

ただ、推定樹齢につきましては、両日とも審査委員の方々の中でも多少意見が分かれるようであり、平均しますと申請木の中では申請より25年〜50年程度短くなったものもありましたが、どの申請木も300年を超える見事なものでした。

両日に亘る審査を終えた後、菅原さんの案内により山取り箇所や園場を見学させていただきました。



「特別庭園樹木(名木)」令和2年度 北日本管与(株) 菅原 勝利(青森県)

令和2年度(次号に令和3年度名木をご紹介します)

名木認定制度は、最高の技術と長い年月によって育成され芸術的風格を備えた庭園樹木(造形仕立て物及び自然型仕立て物)を「名木」と認定し、その価値を称賛することにも、生産技術の継承、生産意欲の振興を図り、ひいては需要の喚起により業界発展に寄与することを目的としています。

名木の対象樹種は、本会会員の所有する中・高木で、販売の意思があり、運搬可能であるものです。

令和2年度は、北海道・東北ブロックを対象に募集を行ったところ応募があり、一次書類審査をすべてが通過し、現地へ赴き2次審査を行い、申請樹木のうち「品位、風格を有し、社会的希少価値が極めて高いもの」として7本が認定されました。

①クロマツ

樹高6.50m 幹周1.50m 枝張6.00m
推定樹齢(年) 500年 認定番号 200501



②クロマツ

樹高6.30m 幹周1.35m 枝張5.00m
推定樹齢(年) 450年 認定番号 200502



③クロマツ

樹高4.80m 幹周1.65m 枝張5.50m
推定樹齢(年) 500年 認定番号 200503



④アカマツ

樹高3.70m 幹周1.28m 枝張4.50m
推定樹齢(年) 350年
認定番号 200504



⑤アカマツ

樹高4.30m 幹周1.50m 枝張6.20m
推定樹齢(年) 500年
認定番号 200505



⑥アカマツ

樹高2.40m 幹周1.05m 枝張4.50m
推定樹齢(年) 300年
認定番号 200506



⑦ゴヨウマツ

樹高4.30m 幹周0.95m
幹周0.87m 枝張0.87m
推定樹齢(年) 350年 認定番号 200507



希望郷の大地の恵みをあなたのもとへ

農業生産法人 株式会社みちのくビオトープ

緑花木の生産・販売

〒024-0022 岩手県北上市黒沢尻 3-4-25
TEL 0197-63-7536 FAX 0197-63-7543
e-mail qqg34gv79@fork.ocn.ne.jp
樹木生産 20ha コンテナ生産 5万本

グループ会社
レフラン(株)
ナチュラルサイエンスパワー
ナノバブル酸素水 1ℓ当り 30mg
植物・動物の活性化の促進
植物・動物の成長・生育の促進
ナノバブル二酸化炭素水 1ℓ当り 2000mg
植物の生長・生育の促進・病害虫の予防
動物の感染予防
畜舎の除菌・消臭

